

暖

Winter
version

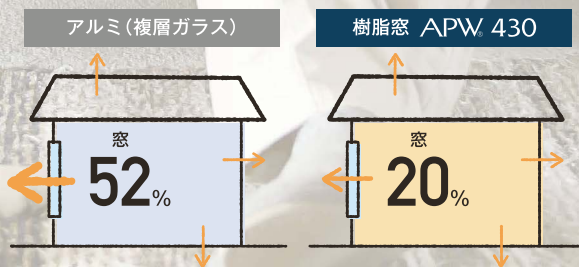
優れた断熱性で
冬の住まいを暖かく
することができます！



室温の逃げ出し口の 多くは「窓」なのです。

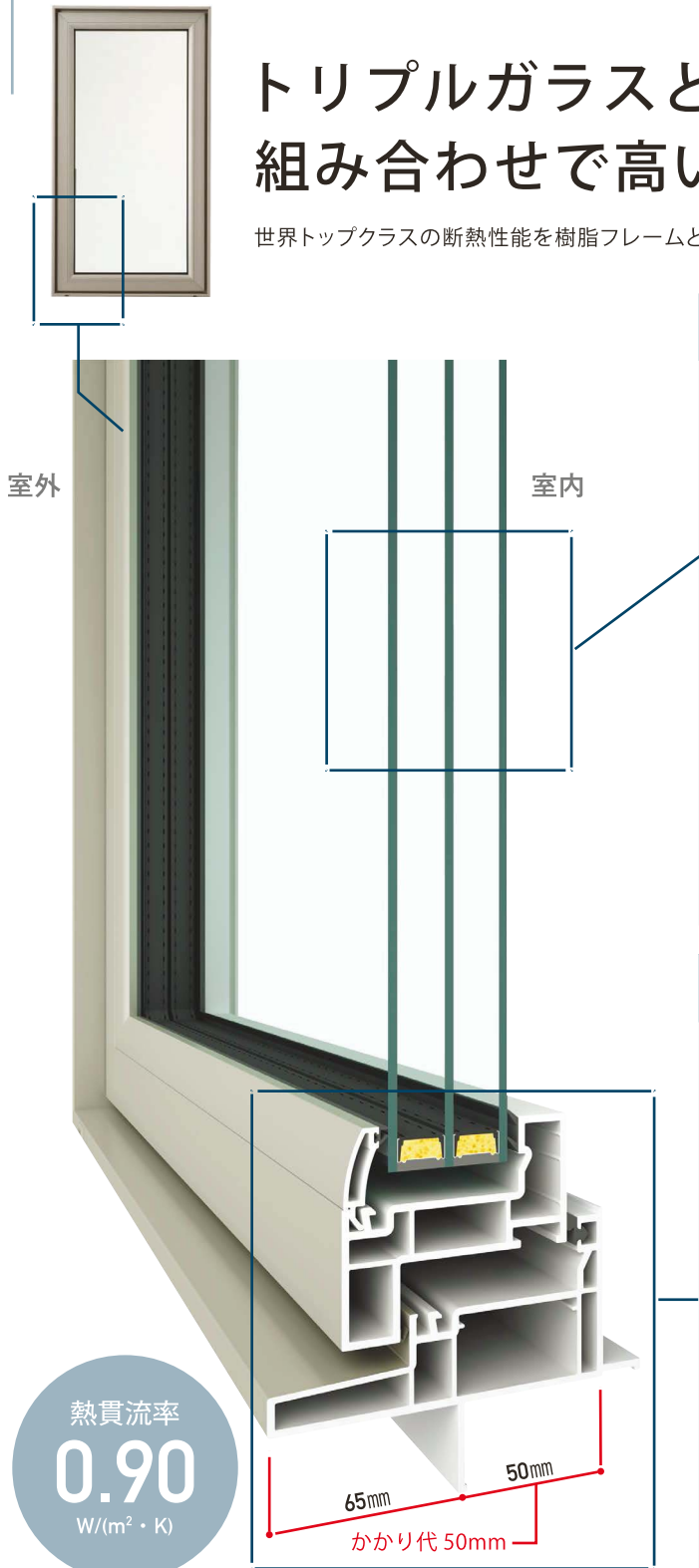
開口部である窓やドアは、住まいにとっての穴という見方があります。住まいは大きく見ると壁と屋根、そして床で成り立っています。そして断熱性という観点で見ると、室温の最も多くの逃げ出し口が窓なのです。窓を樹脂窓 APW 430 に変えただけで、窓からの熱損失率はアルミサッシに比べ約6割削減できます。

■窓から逃げる熱損失割合比較



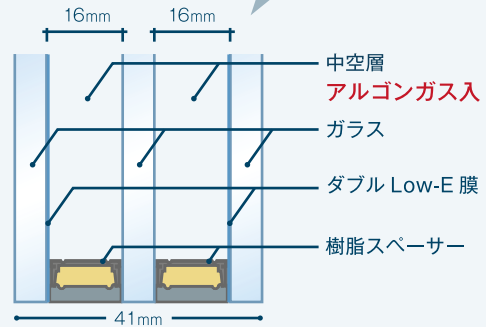
トリプルガラスと樹脂フレームの 組み合わせで高い断熱性能を実現。

世界トップクラスの断熱性能を樹脂フレームとトリプルガラスが支えています。



01 トリプルガラス

3枚のガラスとアルゴンガスで冷気が室内に入りにくい!



2つの中空層 16 ミリにアルゴンガスを封入
総厚 41*ミリのトリプルガラス

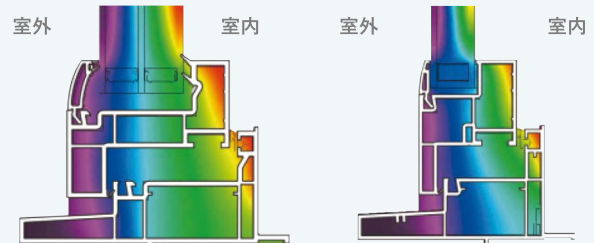
ガラスとしては最も断熱効果が高い 16ミリの中空層が2層。そして中には空気よりも熱伝導率の低いアルゴンガスを封入。さらに2枚の Low-Eガラスで挟まれた総厚 41ミリのトリプルガラス。そしてスペーサーにも熱伝導率の低い樹脂スペーサーを採用し、断熱性能と日射取得率のベストバランスを追求しています。
*引違い窓：総厚 33mm

02 樹脂フレーム

いくつもの中空層が冷気を入れないポイント!

APW 430

APW 330



障子フレーム 3チャンパー
障子フレーム 4チャンパー

障子フレーム 2チャンパー
障子フレーム 3チャンパー

チャンパー：伝熱方向に並ぶ中空層の数 上図はたてすべり出し窓の場合

マルチチャンパー構造で
フレームの断熱性能も高めます

従来の樹脂窓に比べ、フレームの中空層が多いマルチチャンパー構造を採用。障子フレームと枠フレームの部屋数も多くし、熱を伝えにくくしています。フレームの表面温度は 1.5℃上昇します。
(室外温度が 0℃/ 室内温度 20℃解析値)

熱貫流率

0.90

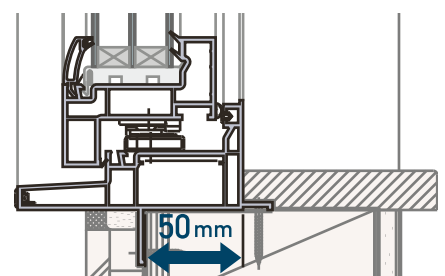
W/(m²・K)

たてすべり出し窓+FIX 連窓
ダブル Low-E アルゴンガス入 [16513 サイズ]

※窓の熱貫流率 (試験方法 / JIS A 4710 : 2004 に準じた社内試験)

重量のあるトリプルガラスも
躯体でしっかり支える、下枠かかり代 50mm。

重量のあるトリプルガラスも躯体でしっかり支える、大きな下枠かかり代です。下枠の躯体かかり代を大きくすることで枠の表面温度を高め、さらに重量のあるトリプルガラスに対しても躯体でしっかり支えることができます。下枠にかかる力を軽減し、枠のたわみを防いで耐久性にも優れています。 ※大開口スライディング : 75mm その他 : 50mm



図はたてすべり出し窓